

販売名：ID メディカル弾性スリーブ

【警告】

1. 適用対象

以下の患者には予想されるリスクを懸念して、治療効果がリスクを上回ると判断したうえで慎重に使用してください。

(1) 深部静脈血栓症の患者

[肺動脈血栓症を発症する危険性があるため。]

(2) 動脈血行障害、うっ血性心不全、または装着部位に炎症性疾患、化膿性疾患、創傷のある患者

[症状を悪化させる危険性があるため。]

(3) 装着部位に神経障害のある患者

[血行障害を起こしても認識できない危険性があるため。]

(4) 糖尿病患者

[無定状の神経障害や血行障害を併発する危険性があるため。]

(5) 繊維に対して過敏症のある患者

[接触性皮膚炎を起こす危険性があるため。]

2. 使用方法

医師が必要と認める場合を除き、就寝時は着用しないでください。[臥位になることで静脈還流等に変化が起き、必要以上の圧迫圧がかかるおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

(1) 重度の血行障害、またはうっ血性心不全の患者

[圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため。]

(2) 感染症静脈炎の患者

[深部静脈への感染を引き起こすおそれがあるため。]

(3) 装着部位に極度の変形がある患者

[適切な圧迫圧が得られないため。]

(4) 上腕・手首の周囲長が本品の採寸表の範囲にない患者

[各部位に過剰ないし過小な着圧がかかることになり、適切な圧迫圧が得られないため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、糸が筒状に編み上げられた形状です。弾力性のある糸により、抹消部から中枢部にかけて圧迫力が漸減する構造です。

2. 組成

綿、ナイロン、ポリウレタン

3. 形状およびサイズ

上肢用のメディカル弾性スリーブ

SS, S, M, L,

【使用目的又は効果】

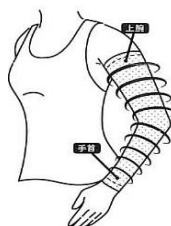
本品は、上肢の静脈血、リンパ液のうっ滞を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の腕用弾性スリーブです。末梢部（手首）から中枢部（上腕）に向かい漸減的に圧迫を加える機能を有しています。

【使用方法等】

1. 装着前（サイズ選定）

- 手首及び上腕の周囲長（cm）を測定してください。
- 手首とはじから下の前腕部で最も細い部位、上腕とはじから肩まで最も太い部位になります。
- 上記の数値により、以下の採寸表から正しいサイズを選んで下さい。
- サイズが2サイズにまたがる場合は大きいサイズを選んで下さい。

サイズ	SS	S	M	L
上腕	16.5~33.5	22~39	27.5~44.5	33~50
手首	12~17	14~19	16~21	18~23



2. 履き方、脱ぎ方

着脱の際には爪や指輪、プレスレット等で生地を傷つけないようにご注意ください。

- スリーブの中に手を入れ、手首部の位置をあわせて、しわやねじれがないこと、生地が2重になっていないことを確認してください。
- 生地をゆくりと上腕部の方へ引き上げていきます。
- 規定の長さまで引き上げて下さい。肘などしわがないことを確認してください。
- 生地をすこずつ手の方向へずらしていくと脱ぎやすくなります。

3. 商品のラインアップ

	サイズ	SS	S	M	L
圧タイプ	手首 22hPa±3	○	○	○	○

【使用上の注意】

1. 使用注意（以下の患者には慎重に適用して下さい）

- (1) 術後等患者の意識レベルが低い場合及び患者との意思疎通が困難な場合には患者の状態をよく観察して使用してください。
- (2) ギプス、外傷等により、装着部位が長時間不動状態にある患者は、潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性があるため、注意して使用してください。
- (3) 本品の使用により、手に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前には感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止してください。

2. 重要な基本的注意

- (1) 本品は弾性スリーブに精通した術者が、必ず装着者に使用方法を説明し、正しい装着手順で使用を開始して下さい。
- (2) 適正な圧迫圧を得るため、装着部位の規定箇所を必ず測定して、正しいサイズの本品を選択して下さい。サイズ範囲外の場合には使用しないで下さい。
- (3) 腫脹の軽減等により装着中に各部位の周囲長が変わった場合には、適切なサイズに変更してください。
- (4) 本品は繊維製品ですので、破損（伝線、ほつれ、破れ等）がないことを確認してから着用して下さい。
①強く引っ張り上げたり、爪を立てて装着しないでください。
②爪が伸びていたり、反っていたりする腕には装着しないでください。
③肌荒れした手や鋭利なものへの接触は避けてください。
- (5) 圧迫圧の過不足を防ぐため、たるみやしわのないように装着してください。本品が、装着中にたるんだり、しわが寄ったり、ずれ落ちたり、誤った位置に装着されている場合には正しく装着し直して下さい。
- (6) 適切な圧迫圧が得られなくなるおそれがありますので、本品を折り返して着用しないでください。
- (7) 本品をはさみで切るなどの加工、修理等の改変をしないで下さい。
- (8) 本品は個人用の製品であり、他人への使いまわしをしないで下さい。
- (9) 本品を他のスリーブ等と重ねて装着しないで下さい。

3. 相互作用

- (1) 軟膏などの薬品や油脂、溶剤等が生地に付着すると繊維が劣化するおそれがありますので付着させないで下さい。

4. 不具合・有害事象

本品の使用により、以下の有害事象が起こる可能性があります。

(1) 重大な有害事項

① 血行障害

チアノーゼ、腫脹、疼痛、しびれ、皮膚の冷感や手指の爪の変色等の血行障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。

② 神経障害

神経麻痺、知覚・運動障害等の神経障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。

③ 皮膚障害

・本品のずれ、圧迫等により、皮膚潰瘍等の皮膚障害が現れた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行ってください。

・急性循環不全等末梢循環が不安定な患者に使用した場合、装着部位に血行障害が発生し壊疽等の皮膚障害が起こる可能性があるため、装着部位の血流に注意してください。

(2) その他の注意事項

本品装着部位に発赤、水泡、かゆみ、発疹、かぶれなどの皮膚障害が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な処置を行って下さい。本品を脱いだ後で皮膚障害が現れる場合もあるので、同様に適切な処置を行ってください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- (1) 包装にキズや破れが生じないよう、取扱い及び保管に注意してください。
- (2) 本品は高温多湿、直射日光、火気を避け、水濡れに注意し清潔な場所で保管してください。
- (3) 本品を施設内で保管、使用する場合は、在庫品は先入れ先出しをしてください。
- (4) 使用期限及び耐用期間は、本品を通常の使用範囲内において使用したのち、履き口、ならびに本体に皮打ち状のゴムの劣化が見られた場合には、本品の機能性を最大限発揮することができなくなってしまう、交換時期となります。

【取り扱い上の注意】

洗濯の際には、塩素系漂白剤は絶対に使用しないでください。また、その他の取り扱い方法はパッケージの表示マークに従ってください。

取り扱い表示	
	
	
	

【保守・点検に係る事項】

繰り返し使用する場合は破損（伝線、ほつれ、破れ等）や繊維の劣化等がないことを確認してから使用してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 イイダ靴下株式会社

〒849-0501 佐賀県杵島郡江北町山口1619

電話 0952-86-2253 FAX 0952-86-3214